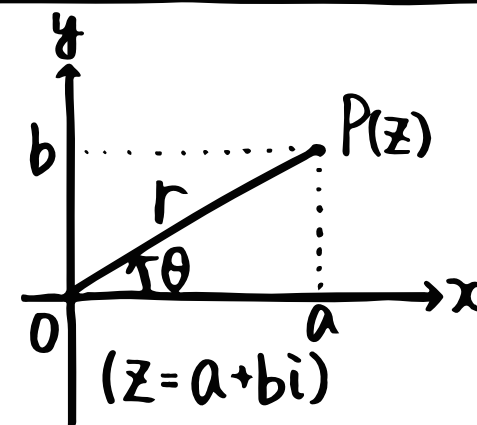


## 数Ⅲ (複素数の極形式①)

① 複素数平面上の点  $P(z)$  に対し、 $r=|z|$ 、実軸の正の部分と動径  $OP$  のなす角を  $\theta$  とすると、①  $z=$  \_\_\_\_\_ と表され、これを複素数  $z$  の極形式という。このときの  $\theta$  を複素数  $z$  の② \_\_\_\_\_ 角といい、③  $\theta=$  \_\_\_\_\_ と表す。



④ 次の複素数を極形式で表そう。ただし、偏角  $\theta$  は  $0 \leq \theta < 2\pi$  とする。

④  $1+i$

⑤  $-2$